

はじめに

揖斐郡読書感想文推進委員会

委員長 寺田 祐美子

一冊の本を開くことは、未知の海へ船出することのようです。そこには、見たことのない景色が広がり、想像もしていなかった発見が待っています。読書は、私たちを新たな世界へと導き、心豊かな時間を提供してくれます。

読書感想文を書くことは、この航海の航海日誌をつけるようなものです。感想文に記すことで、私たちは、物語の奥深くに潜り込み、作者の意図を理解し、登場人物の心情に共感します。読んだ本の感動や考えを、自分の言葉で表現することで、豊かな言葉遣い自身につけ加えます。本の内容について深く考え、自分の意見を述べることで、論理的な思考力や創造力を養います。物語の世界と自分自身を重ね合わせ、自己理解を深めることができます。

今年度、揖斐郡内で読書感想文に取り組んだ一五九四人の皆さん、素晴らしい作品をありがとうございます。近年、子どもたちの読書離れが深刻な問題となっています。文部科学省の調査によると、中学生の十二%以下、高校生の四十%以下が一ヶ月に一冊も本を読まないという状況です。これは、スマートフォンやゲームなどのデジタルデバイスの普及により、手軽に楽しめる娯楽が増え、じっくりと本を読む時間が少なくなっていることが背景にあります。別の調査では、子どもの半数が平日の読書時間0分という結果も出ています。特に、学年が上がるにつれて読書をしない割合が増加する傾向が見られます。しかし、読書には、教科書だけでは得られない貴重な学びがたくさんあります。物語の世界に入り込み、登

場人物の気持ちに共感したり、新しい知識を得たり、想像力を膨らませたり……。読書は、心の栄養となり、知的好奇心を刺激し、豊かな人間性を育む上で欠かせないものです。

夏休みという貴重な時間を活用し、読書に親しみ、感想文に取り組むことは本当に素晴らしいことです。読書を通して得た感動や学びを、言葉で表現することは、容易なことではありません。それでも、自分の考えをまとめ、文章にすることで、思考力や表現力が養われます。読書感想文は、単なる宿題ではなく、自分自身と向き合い、成長するための貴重な機会です。皆さんの作品からは、それぞれが個性あふれる豊かな感性を持っていることが伝わってきます。これからも、たくさんのお本と出会い、自分だけの読書の世界を広げていってください。

保護者の皆様におかれましても、お子様の読書活動を応援していただき、誠にありがとうございます。ご家庭での読書の習慣は、お子様の成長に大きな影響を与えます。読書は、一生の宝物です。今後も、ご家族の皆様で読書を楽しむ時間を過ごしていただけたらと願います。

この読書感想文集には、厳正な審査のもと、文章構成・内容・表現等において優れていると認められ、揖斐郡代表として岐阜県読書感想文コンクールに推薦した作品が載せられています。ぜひ、本冊子を手に取り、子どもたちの豊かな感性に触れていただけたら幸いです。

最後に、審査にあたりお世話になった、揖斐郡内各校の先生方、各校代表の読書感想文推進委員、揖斐郡教育研修センターの皆様にお礼を申し上げ、巻頭言といたします。ありがとうございました。